

経営戦略計画(平成 26 年度～平成 28 年度)の
取り組み結果について

経営戦略計画(平成 26 年度～平成 28 年度)の取り組みの結果は、以下のよう
になりました。

| | | | | |
|--------|----------------------------|--|----------|-----------------|
| 経営戦略目標 | ①情報交流事業の実施準備を進めます。 | | | |
| 成果指標 | 平成 29 年度の実施に向けた準備【技術研究等事業】 | | | |
| | 平成 25 年度 | 平成 26 年度 | 平成 27 年度 | 平成 28 年度 |
| | 計画 | 施設機能・整備内容検討 | 基本設計 | 詳細設計 |
| | 実績 | 施設機能・整備内容検討 | 内容検討 | ライブラリ 施設設置準備 |
| 取組み | 計画 | 平成 29 年度に実施を予定している情報交流施設（仮称）について、計画的な資金の積立を行うとともに、建設技術者を中心としたニーズの調査、事業内容・配置計画等の検討及び関係者との調整を進め、平成 28 年度までに詳細設計を完了し、平成 29 年度中の実施に備えます。 | | |
| | 実績 | 資金の積立は概ね計画どおりとなりましたが、具体的な内容の検討を進める中で、計画内容の中心を施設（ハード）整備から事業内容（ソフト）の充実に変更し、設計施工に必要な参考資料や、新工法等の情報をそろえるライブラリを設置する準備を進めました。 | | |

| | | | | | |
|--------|------------------------------|--|----------|----------|----------|
| 経営戦略目標 | ②技術の向上につながる新たな形式の講習会等を展開します。 | | | | |
| 成果指標 | 講習会等の実施件数【技術研究等事業】 | | | | |
| | | 平成 25 年度 | 平成 26 年度 | 平成 27 年度 | 平成 28 年度 |
| | 計画 | 6 件 | 7 件 | 8 件 | 9 件 |
| | 実績 | 6 件 | 6 件 | 7 件 | 8 件 |
| 取組み | 計画 | <p>実務に即効性のある講習会の調査・検討、アンケート結果の新たな開催要望への反映、効果の実証と今後へのフィードバックなどにより、技術者のニーズを強く意識した講習会を開催します。</p> <p>また、「なごや技塾」や「シンポジウム」を始め、既存の講習会では取り扱うことの少なかった、官民の技術者や異分野の人材が交流できる場・企画の検討を進め、そのような方向性を持つ講習会等を平成 28 年度までに 3 件拡充します。</p> | | | |
| | 実績 | <p>「なごや技塾」は継続して実施しつつ、新たに平成 26 年度から「建設技術発表会」、平成 27 年度からは「橋梁保全研修」、平成 28 年度には「新人・若手研修」、「親子見学会」と新たな講習会等を企画・実施してきました。</p> <p>なお平成 28 年度は、従来から実施している「施工管理講習会」が実施できず、8 件の実績となりました。</p> | | | |

| | | | | | |
|--------|-------------------------|--|----------|----------|----------|
| 経営戦略目標 | ③地域還元策を積極的に講じます。 | | | | |
| 成果指標 | 啓発活動費（対事業費ベース）【自転車対策事業】 | | | | |
| | | 平成 25 年度 | 平成 26 年度 | 平成 27 年度 | 平成 28 年度 |
| | 計画 | 0.4% | 0.5%確保 | 0.5%確保 | 0.5%確保 |
| | 実績 | 0.4% | 0.4% | 0.5% | 0.5% |
| 取組み | 計画 | 「放置自転車追放啓発ポスターコンクール」の開催や、「環境デーなごや」へのブース出展を通じ、放置自転車等の防止や自転車等の適正利用に関する啓発活動を行うなど、公益団体として地域に密着した活動を積極的に行います。 | | | |
| | 実績 | 「放置自転車追放啓発ポスターコンクール」の開催、「環境デーなごや」への出展などの啓発活動に加え、地域の福祉団体にリサイクル自転車を無償譲渡する「友愛自転車事業」を行いました。 | | | |

| | | | | |
|--------|----------------------------|--|----------|----------|
| 経営戦略目標 | ④ノウハウを活かした施設管理業務の受託を目指します。 | | | |
| 成果指標 | 業務受託【自転車駐車対策事業】 | | | |
| | 平成 25 年度 | 平成 26 年度 | 平成 27 年度 | 平成 28 年度 |
| | 計画 | 平成 28 年度までに有料自転車駐車場管理運営業務を新規受託 | | |
| | 実績 | — | | |
| 取組み | 計画 | 有料自転車駐車場管理運営業務において、これまで培ったノウハウを活用し、管理体制や業務実施体制、企画提案内容の検討を行い、施設管理業務の受託を目指します。 | | |
| | 実績 | 公募要件・委託業務内容を精査し、財団の財務状況、組織体制などを総合的に勘案し、入札参加を見送りました。 | | |

| | | | | | |
|--------|----------------------------|--|----------|----------|----------|
| 経営戦略目標 | ⑤魅力ある水辺空間の活性化に取り組みます。 | | | | |
| 成果指標 | イベント等の賑わい事業【納屋橋地区水辺活用推進事業】 | | | | |
| | | 平成 25 年度 | 平成 26 年度 | 平成 27 年度 | 平成 28 年度 |
| | 計画 | 30 件 | 31 件 | 32 件 | 33 件 |
| | 実績 | 37 件 | 33 件 | 30 件 | 34 件 |
| 取 組 み | 計 画 | <p>納屋橋地区の水辺空間において、地元への働きかけや事業のPRにより、イベント件数を増加させます。</p> <p>また、オープンカフェ等の使用を周辺の店舗事業者へ呼びかけ、納屋橋地区の賑わい創出を図ります。</p> | | | |
| | 実 績 | <p>財団主催の地元小学生向けの環境学習イベントを新規に始めました。また納屋橋地区では、イベントの誘致を行った結果、相談件数も徐々に増えてきました。</p> <p>年度毎に増減はありますが、4年間の合計件数は計画目標の126件を上回り134件となりました。</p> | | | |

| | | | | | |
|--------|---------------------------|--|--------|--------|--------|
| 経営戦略目標 | ⑥施設PRや営業活動を通じて新規顧客を開拓します。 | | | | |
| 成果指標 | 新規顧客数【建設資材の品質試験事業】 | | | | |
| | | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 |
| | 計画 | 2事業者 | 2事業者増 | 2事業者増 | 2事業者増 |
| | 実績 | 2事業者 | 7事業者増 | 15事業者増 | 1業者増 |
| 取組み | 計画 | <p>材料試験事業において、積極的な営業活動、業界紙や財団HPを活用した施設PR及びお客さまに当施設を気持ちよく利用していただくための利用環境の改善等を今後も引き続き行い、新規顧客を開拓し経営基盤を強化します。</p> | | | |
| | 実績 | <p>新規顧客の開拓に努めた結果、名古屋駅地区の再開発に関わる事業者の一括受注に成功したことや、「アスファルト事前審査」に係る三重県内事業者も増え、4年間の新規顧客数は、計画目標の8件を上回り25件となりました。</p> | | | |

| | | | | | |
|--------|------------------------|---|---------------------|-------------------|---------------------|
| 経営戦略目標 | ⑦計画的・効率的な施設の維持管理を進めます。 | | | | |
| 成果指標 | 修繕費【自転車駐車対策事業】 | | | | |
| | | 平成 25 年度 | 平成 26 年度 | 平成 27 年度 | 平成 28 年度 |
| | 計画 | 1,722 千円 | 1,670 千円 3%削減 | 1,618 千円 6%削減 | 1,549 千円 10%削減 |
| | 実績 | 1,838 千円 | 1,157 千円 (37%削減) | 853 千円 (53%削減) | 1,124 千円 (35%削減) |
| 取組み | 計画 | <p>施設の維持管理を計画的・効率的に進めることで費用の節減に努めます。</p> <p>自転車等保管場所の修繕費については、チェックリストを使用した日常点検などによる早期対応の徹底や、程度に応じて保管場所管理人が修繕を行うなどの工夫で削減します。</p> | | | |
| | 実績 | <p>日常点検の充実や直営対応などによる修繕費削減に努めた結果、計画目標を大幅に上回る削減を達成しました。</p> | | | |

| | | | | | | |
|--------|---------------------------------------|---|-------------------|-------------------|-------------------|--|
| 経営戦略目標 | ⑧放置自転車等の保管返還業務の効率化を図り、市民サービスの向上に努めます。 | | | | | |
| 成果指標 | 撤去自転車等の所有者返還率【自転車駐車対策事業】 | | | | | |
| | 平成 25 年度 | 平成 26 年度 | 平成 27 年度 | 平成 28 年度 | | |
| | 計画 | 48.0% | 50.0% 2%向上 | 52.0% 4%向上 | 53.0% 5%向上 | |
| | 実績 | 48.3% | 49.8% (1.5%向上) | 48.5% (0.2%向上) | 50.7% (2.4%向上) | |
| 取 組 み | 計 画 | 平成 24 年度に導入した放置自転車等管理システムを活用し事務の効率化を進め、引取通知書の送付日数を短縮するとともにコールセンターの対応力の充実を図り、市民サービスの向上に努めます。 | | | | |
| | 実 績 | 放置自転車等管理システムの活用や、引取通知書送付のための警察への照会の即日対応により、市民サービスを着実に向上させた結果、返還率は向上しましたが、計画目標の数値には到達出来ませんでした。 | | | | |

| | | | | | |
|--------|------------------------------|--|----------|----------|----------|
| 経営戦略目標 | ⑨職員の技術力・コミュニケーション能力の向上を図ります。 | | | | |
| 対 象 | 建設資材の品質試験事業 | | | | |
| 成果指標 | アンケートにおけるお客さま満足度 | | | | |
| | | 平成 25 年度 | 平成 26 年度 | 平成 27 年度 | 平成 28 年度 |
| | 計 画 | 75% | 76% | 77% | 78% |
| | 実 績 | 83% | 84% | 79% | 86% |
| 取 組 み | 計 画 | <p>お客さまと接する業務の成果を上げるため、職員の技術力・コミュニケーション能力の向上を図ります。</p> <p>建設技術センターの受付や各試験室職員を対象とした知識・接遇向上研修等を行い、お客さまの要望を的確に把握・対応し、お客さまに満足していただける試験所、社会的に信頼される試験所を目指します。</p> | | | |
| | 実 績 | <p>毎年実施しているお客様アンケートの要望事項などを改善したことにより、お客様満足度の向上につながりました。</p> <p>・時間短縮のための主な改善</p> <p>①アスファルト抽出試験機の増強（2連→3連）や試験優先度による順序の変更を含む業務の効率化により、試験依頼から報告書発行までの時間を短縮しました。（アスファルト試験）</p> <p>②時間のかかる試験項目については、お客様への丁寧な説明を行い、ご理解をいただきました。（土質試験）</p> | | | |

| | | | | |
|--------|--------------------------------------|--|----------|----------|
| 経営戦略目標 | ⑩組織のキャリアパスを示し、職員が自発的に能力向上を図る道筋をつけます。 | | | |
| 成果指標 | 昇任試験制度の導入【組織全体】 | | | |
| | 平成 25 年度 | 平成 26 年度 | 平成 27 年度 | 平成 28 年度 |
| | 計画 | 導入 | | |
| | 実績 | 導入 | 実施済 | 実施済 |
| 取 組 み | 計 画 | 固有職員のキャリアパスを示すことで、職員が積極的に資格や技術を習得する意欲を引き出し、将来の財団を担う人材の育成を促進します。 | | |
| | 実 績 | 平成 26 年度に昇任試験実施要綱を整備し、平成 27、28 年度において係長試験昇任選考を実施しました。 その中で、平成 28 年度昇任試験において、1 名合格者を出しました。 | | |